



令和8年度 5月号 令和8年5月1日

# 上原だより

渋谷区立上原小学校  
校長 佐伯 孝司

<https://shibuya.schoolweb.ne.jp/1310240>

「やってみたい」を実現する学習に

副校長 西村 綾乃

新年度が始まり、3週間が経ちました。緊張していた子供たちも新たな環境に慣れつつあり、それぞれの教室から元気な声が届いています。先日の学校公開では、既に「探究的な学び」が始まっている様子をご覧いただけたのではないのでしょうか。



## ◆情報収集をする姿

「震災の時に困ったことは何ですか」「災害のために備えているものはありますか」「震災の時に良かったことは何ですか」これはインタビューに来た子供たちから受けた質問です。災害をテーマに学習をしていますがその視点は様々であり、自分の課題解決に必要な情報を主体的に集めている姿が見られました。このような光景は他学年でもご覧いただけたのではないでしょ

うか。学校公開は、多くの人から多様な意見をいただく良い機会である、と子供たちは認識しています。そして、情報収集が学習を展開する上でいかに大切についても、これまでの学習で学んできています。集めた情報をどのように精査し、まとめ、発信していくか今後の展開が楽しみです。



## ◆外部との連携を進める姿

外部とどのように連携を図り学習活動を展開するかは、活動への目的意識の醸成や活動に対する意欲向上のためにとっても大切です。今年度は「架け橋プログラム」という幼保小の連携を大切にした活動の設定も意識して学習に取り組んでいます。自分たちの活動先を自らが交渉し開拓していく、このような活動こそが、子供たちの主体的な学びを広げる鍵となります。相手からの反応も更なる意欲向上につながります。



## ◆様々な方の協力

左の写真は、4月25日に行われた第1回のコミュニティ・スクール委員会の様子です。地域や学校関係者を代表する皆さんと、子供たちの学習について話し合うことで、教員は様々なヒントをいただきました。そして、1年を通して様々な面から協力していただきます。今年度

も上原小は様々な人々に支えられ、「もっとやりたい」で進んでいくシブヤ未来科の学習を展開していきます。今後の学校公開等で学習の経過をご覧いただけますと幸いです。